

都議会運営に『経営目線』で切り込む!

三菱商事 出身

世界で鍛えた交渉力と人間力

米国公認会計士

国際基準で都政の無駄を見抜く

中小企業診断士

地域企業に寄り添い支える

学生時代
体育会

アメフト部

戦略性 × 実行力 × 精神力

議案に対する私の判断基準——

- ① 民間でやれることは民間で
税金だけに頼らず、民の力と知恵を活かす都政へ
- ② 規制は強化するより緩和する
ルールで縛るより、可能性を広げる
- ③ 既得権益を守るより壊す
ひとつひとつの施策やコスト構造の透明性を高める
- ④ 短期的利益より長期的効果
効果の持続しないバラマキ施策ではなく、未来に繋がる施策を



再生の道公認
加藤てつお
51歳

私が推薦します 再生の道 代表 石丸 伸二

商社で叩き上げ、海外で揉まれてきた、数字で事業を見抜く目は本物です。

都政に必要なのは、「空気を読む人」ではなく「空気を変える人」。

加藤さんは、明るさと行動力で、まわりを巻き込みながら突破していく力があります。

政治屋だらけの東京に、ビジネス感覚と熱量を。彼なら、やってくれます。



加藤てつお YouTube
チャンネルはこちら▶



いいものはいい、ダメなものはダメ。

都議に必要なのは、派手なスローガンではなく「どう判断するか」です。私は、M&Aや事業経営を通じて、様々な事業の価値を見極め、未来につながる選択をしてきました。

その経験から導き出したのが、上に掲げた「4つの判断基準」です。ひとつひとつの施策をこの判断基準で見極め、行政や政治家の都合ではなく、**都民の立場から是非を判断**していきます。

たとえ一見賛同し難い政策に見えても、議論を重ねる中でこれらの基準に沿う内容に近づくのなら、迷わず賛成に回ります。

味方だから賛成、敵だから反対—— そんな政治ではなく、「いいものはいい、ダメなものはダメ」と言える都議会を私は取り戻します。